

国分寺市では、国の重要な歴史遺産でもあり、市が誇る史跡武蔵国分寺跡 附東山道武蔵路 跡の保存整備事業を進めています。平成 18 年 7 月 28 日に史跡の追加指定を受けた国分寺 崖線下の現国分寺東側一帯の整備を終えました。ここは、周囲と一体となった自然・歴史環境 を形成しており、現在の景観を後世に伝えていかなければならない大切な地域です。

そこで、お鷹の道・水路の北側は、有料公園施設「おたかの道湧水園」として平成 21 年 10 月 18 日に開園しました。納めていただいた入園料は、湧水など良好な自然環境を大切に 残していくための維持管理費に充てています。

園内にあった既存建物は改修して、史跡を中心とする地域文化への理解を深めていただく ための展示施設「武蔵国分寺跡資料館」として開館しました。

また、お鷹の道沿いにある既存建物も改修して、休憩や地理案内なども提供できる施設となり ました。まちの駅全国ネットワークに加わり、「史跡の駅」(愛称:おたカフェ)として、市民や 市内団体との協働で運営しています。

施設のご利用案内・

- ●時 間 午前9時~午後5時(入園は午後4時45分まで)
- ●お休み 月曜日(祝日・振替え休日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日~1月3日) 臨時休園日
- ●入園料 おたかの道湧水園(入園券は史跡の駅で販売) 一般……100円(年間パスポート1000円) 中学生以下……無料

※武蔵国分寺跡資料館への入館には入園料が必要になります

- ■入園料の減免規則があります。
- ①学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が 入園するとき(事前(7日前まで)に減免申請書の提出が必要です。)
- ②身体障害者及びその介護者が入園するとき

(発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。)

③その他教育長が特別の理由があると認めるとき

(事前(7日前まで)に減免申請書の提出が必要です。)





もっと 広がる

緑あふれる武蔵野の 天平の史跡のまち





国分寺市教育委員会

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

武蔵国分寺跡資料館は、「見る」・「学ぶ」・「訪ねる」を コンセプトにした史跡武蔵国分寺跡を紹介する資料館です。 おもに史跡武蔵国分寺跡の出土品を展示して、これまでの 発掘調査の成果や、市内の文化財、史跡武蔵国分寺跡の 整備事業などを紹介しています。

館内には文化財関係図書の販売コーナーや学習コー ナーもあります。

資料館の2階は、国分寺市教育委員会ふるさと文化財 課の事務室となっています。周知の遺跡内における土木 工事の届出や相談、文化財についての問い合わせの窓口 業務などを行っています。

武蔵国分寺跡資料館付属棟は主に遺跡出土資料を収蔵 する施設です。



武蔵国分寺跡資料館

[住 所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10

] 042-323-4103 [F A X] 042-300-0091

[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp

[ホームへ゜ージ] http://www.city.kokubunji.tokyo.jp

/shisetsu/1733/009819.html

国分寺市立歴史公園

おたかの道湧水園

Otaka-no-michi Spring Park





史跡の駅 おたカフェル

Station of Historic Site OTA CAFE

「史跡の駅」は、現在全国に約1,700ヵ所ある「まちの 駅」の一つで、トイレのある無料休憩所兼案内所として、 国分寺市でも訪問者・散策者の多い史跡武蔵国分寺跡に つくられました。

休憩所や案内所としての役割のほかに、おたかの道湧 水園への入園券の販売業務、文化財一般向け図書の販売、 史跡やその周辺についての紹介、国分寺の名産品などの 販売などを行います。

また、市民解説員(ボランティア)による史跡ガイド (無料、要申し込み) の受付も行っています。

史跡の駅の愛称は、「おたかの道」にある「カフェ」 ということで「おたカフェ」になりました。

運営は、国分寺市が東京経済大学・国分寺地域連携推 進協議会に委託しています。協議会内の実行委員会が中 心を担い、市からは「駅長」を派遣して、総合的管理に あたっています。



史跡の駅 おたカフェ

[住 所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-6

話] 042-312-2878 「FAX] 042-312-2878

[E-mail] info@ota-cafe.com

[ホームへ゜ーシ゛] http://www.ota-cafe.com